

県知事に下総利根大橋の早期無料化を要望



▲橋本知事に要望書を手渡す青木会長

8月26日、市区長会連合会員、長須地区区長、市議会議員のみなさんが吉原市長とともに県庁を訪れ、橋本知事に対し、「下総利根大橋有料道路の早期無料化を求める要望書」を市民のみなさん34168人の署名とともに手渡しました。

下総利根大橋は、千葉県、埼玉県及び茨城県の交流を図る重要な路線として平成2年答がありました。

下総利根大橋の無料化は、芽吹大橋の交通渋滞の緩和だけでなく、今年度末に全線開通を予定している圏央道との相乗効果により、産業・経済の発展及び観光・文化の振興がより一層図られるなど好循環効果が期待されます。

一日も早い無料化に向けて今後も活動を展開していくきますので、みなさんのご協力をお願いします。

1月に開通し、芽吹大橋の交通渋滞の緩和などが期待されていましたが、有料であることから当初の利用計画台数には達していなく、交通渋滞の緩和には至っていません。

要望に対しても橋本知事は、「下総利根大橋有料道路は、未償還の建築費の一部が千葉県の出資金であることから、千葉県との調整が必要である。34168人のみなさんの署名もありますので、今後十分に勉強していきたい」との回答がありました。

8月21日、一般社団法人坂東青年会議所と市が協働で組織する市民討議会実行委員会が、岩井公民館で市民討議会を開催しました。

今年で7回目となる市民討議会は、市民参加のまちづくりを進めようと開催しているもので、無作為に抽出した1500人の市民へ案内状を送付し、当日は16人(16歳～69歳)が参加しました。

今回は「学校×家庭×地域コミュニティの連携」地域

わくわくばんどう まちづくりディスカッション2016
坂東市市民討議会

子どもたちの将来を真剣に話し合いました



▲子どもたちの将来について坂東市ならではの討議を行いました

の中でも子どもは育つ」をテーマにグループに分かれ、子どもたちの将来のために必要なことや、そのためには自分ができることを話し合いました。

後日、市民討議会で話し合われた結果を報告書としてまとめ、市に提言します。

■お問合せ
市民協働課 岩井臨時庁舎
内線3252

16歳～69歳)が参加しました。
今回も活動を展開していくますので、みなさんのご協力を